

Q 高速道料金引き下げは

A 関係機関に要望します



相原 孝彦 議員

Q1 近年、環状線の大型車の交通量が増えている。それに伴う騒音の苦情や、道路の修繕への対処は。

A1 盛岡環状線の道路管理者である県では、タイヤと路面の接触音を舗装の隙間で吸収し、騒音の低減や沿道への水はね抑制など、沿道環境の改善に効果のある排水性舗装を施行しています。
道路の傷みは、道路パトロールを毎日実施しており、良好な状態に保つよう維持修繕し一般交通に支障を及ぼさない努力をしています。



▲渋滞緩和などのため実験が行われた東北自動車道

Q2 ①盛岡西バイパスの具体的な見通しは。
②高速道路の料金引き下げを強く要望する考えは。

A2 ①国道46号から「分レ」間は、まだ計画が定まっていませんが、財政状況や社会情勢の変化により、事業化は相当厳しいと考えます。
②盛岡中心部の国道4号などの渋滞緩和と、沿道環境の改善のため、高

速道路の料金割引実験が行われませんでした。
割引については、機会をとらえ関係機関に要望してまいります。

Q3 企業への「育児休暇」取得指導は。

A3 次世代育成支援対策推進法の施行で種々周知は行っていますが、本村の中小企業のほとんどは策定義務の対象となっていないので、取得状況は把握していません。県内の14年度の実績では、女性は75.1%、男性は0.9%となっています。

若者の雇用支援策は。

Q4 30歳以下の雇用の支援は、盛岡市内にあるジョブカフェで求職相談や紹介、支援セミナーを行っており、村では、就職面接会案内などを広報紙に掲載しています。また、昨年11月下旬に地域職業相談室を開設し、雇用相談員を2名配置し、就職相談に応じています。